

交換留学（派遣）帰国報告書

.....  
留学先大学： University of Birmingham  
留学先での所属学部・研究科： Department of History  
留学先での在籍身分： exchange student  
留学期間： 2018 年 9 月～ 2019 年 6 月  
神戸大学での所属学部・研究科： 文学部  
学年（出発時）： 3  
本報告書記入日： 2019 年 6 月 28 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 10 月 1 日

学年終了月日： 6 月 21 日

学期：

① 10 月 1 日～ 12 月 14 日

② 1 月 14 日～ 3 月 29 日

③ 4 月 29 日～ 6 月 21 日

④ \_\_\_ 月 \_\_\_ 日～ \_\_\_ 月 \_\_\_ 日

1-2. 留学先大学の特長，人気のある分野等

図書館がとても大きくて基本的に欲しい本がある。キャンパスが綺麗。日本人はほとんどいない。文理共に充実していると思う。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

毎日テーマ別で自由参加の講義がある。エッセイのアドバイスを受けられるサービスもある。予約制でレベル別にスピーキングに特化した短時間のセミナーもある。

勉学面でのサポート：

Welfareチューターにいつでも相談可能。自分の所属学科にいるチューターの先生も助けてくれる。授業の先生にも相談できる

精神面でのサポート：

Welfareチューターに相談可能

住居・生活面でのサポート：

大学の寮に入ればそのreceptionがサポートしてくれる。これについてもWelfare  
チューターに相談可能

課外活動のサポート：

societyは1年毎のmembershipを買う。留学生向けの日帰り旅行も頻繁に企画され  
る。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

## 2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

基本的にはフラットで、少なくともキッチン共有なのでフラットメイトと仲良く  
しつつルールを決めて、言いたいことは言う。大学の寮は学部生がほとんどで夜は  
うるさい。個人的にはフラットメイトにも恵まれてとても暮らしやすかった。

## 3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

学研災付帯海外留学保険（「付帯海学」）（神戸大学指定の保険）

また、上記以外で加入した保険があれば、ご記入ください。（留学先の国・大学が義務付けている保険等）

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮の中でWiFiがある。プランによって値段が変わるが、無料のプランで十分。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

大学のパソコンは図書館や、各建物の自習スペースなどに置いてある。日本語  
環境は使用していないのでわからない。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通っていない。イギリスはGPというかかりつけ医登録制度で、寮のすぐ近く  
の病院で登録した。基本は保険が効くのでとそんなに高くないと思います。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

歯医者は保険が効かずとても高いので歯磨きはしっかりする。水道水は一応沸  
かしてから飲む

3-4. 銀行口座等について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。  
(現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等)

日本の口座でビザデビットカードを作った。現地でも銀行口座を開設し、毎月決まった額を日本の私の口座から送っていた。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

時間にはそれほど厳しくない。教育されている層とされていない層で開きがある。スーパーのレジやバス待ちなどでよく世間話をする

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

すでに友達や、高校生の時にホームステイした家族と会ったりまた泊まらせてもらったりした

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

していない

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

移民が多いし中国人がとても多いので紛れることができる。治安は普通のヨーロッパの街と変わらないと思う。都市部なので暮らしやすい

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

していない

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) JASSO , 80,000 円/月  
その他 (渡航費等の支給) 電通育英会60万 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

外務省のホームページ、Crime Rates in Universities and Towns（サイト）

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

ダイソーで売っている電子レンジで白米が炊ける容器とパスタができる容器。歯ブラシ。爪切り。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。  
留学前：(IELTS 6.5 ) 点→帰国後 (IELTS 7~7.5 ) 点

Reading Listが各授業で課されるので読むのが早くなる。エッセイも2000語以上のものを各授業で書くのでwritingのスキルも上がる。セミナーでは積極的な発言やプレゼンが求められるし共同生活なのでspeakingも上がる

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

特にトラブルはありませんでした。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

交換留学の学生として留学先に推薦された後は一般学生と同じ手続きを踏むので神戸大学は介していません。安全研修はよかったです。VPNをパソコンだけでなくスマートフォン、タブレット用も設置して欲しいです。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。日本人がほとんどいないので英語のスキルも向上します。求められるレベルも高く、勉強は大変ですがしっかり身につきます。留学生が多いので色々な国の人と友達になれます。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 4
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 2
- ・留学全体の総合的な評価： 5

留学先大学： University of Birmingham  
 留学先での所属学部・研究科： Department of History  
 留学先での在籍身分： exchange student  
 留学期間： 2018 年 9 月 ~ 2019 年 6 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 文学部  
 学年（出発時）： 3  
 本報告書記入日： 2019 年 6 月 28 日

### 授業について

留学期間に履修した授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Military Revolution and the Conduct of War, 1300-1500・軍事革命と戦争の遂行	Richard Cust	3	20	12	演習3時間なのでreading listの消化が必須。エッセイ評価。
2	Reformation and Rebellion and Revolution: the Making of the Modern World・宗教改革、反乱、革命:近代の創出	オムニバス	3	20	300	講義2、演習1時間。エッセイ3割テスト7割評価。採点厳しめ。
3	Republican Rome: From the Gracchi to Caesar: 共和政ローマ: クラス兄弟からカエサルまで	Henriette van der Blom	2	20	20	講義形式1、演習形式1。一次史料を用いた演習。テスト評価。一次史料からの抜粋もあるのでしっかり目を通して丘なればならない。
4	The Making of Britain・ブリテンの創出	Zoe Thomas & Duncan Frankis	2	10	50	講義1、演習1時間。小テスト25%、エッセイ75%。小テストは簡単。エッセイは1500語で短め。留学生限定。
5	Empires and Nations: 帝国と国家	Mo Moulton & Shahmima Akhtar	2	10	50	講義1、演習1時間。小テスト25%、エッセイ75%。小テストは簡単。エッセイは1500語で短め。留学生限定。
6	Introduction to English Literature before 1790・英文学導入1790以前	David Maund & Caroline Lion	2	20	30	講義1、演習1時間。エッセイ3000語。留学生限定。毎回街灯の文学を指定されたページ分読み、与えられた質問の答えをグループで考えていく。
7	Towns and Urban Life in the Middle Ages	Johns Rohrkasten	3	20	15	演習3時間。形式は講義より。2コマに1回論文記事を割り当てられて要約をプレゼン。テスト。
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

講義があるものは100人を超えるが、演習の時には少人数グループになる。テストかエッセイ、もしくは両方での評価で、英語のミスなどでも減点される。フィードバックがもらえる。現地学生の取り組み方はもちろん個人差があるが、基本的にReading listはほぼ消化してきており、授業内での発言も積極的。

### 費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 200,000  
 ・住居費：（月額） 67,700 ×（留学月数） 9 ヶ月 = 609,300  
 ・食費：（月額） 25,000 ×（留学月数） 9 ヶ月 = 225,000  
 ・保険料： 5~60,000  
 ・その他： 275,000  
 合計： 1,100,000 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

毎授業前の予習とエッセイやテストが大変で、求められるレベルも高いので大変でしたが、本当に身になったと感じています。授業を通して読む、書く、話す、聞くの全ての技能も向上したと思います。留学生の多い大学で、色々な国の人と話す機会が多く、視野も広がりました。しかし日本人はほほいないので英語学習にはいい環境だと思います。個人的には、海外の大学院に興味があったのでそのことや将来のキャリアについて考えるいい機会でした。長期休暇期間には友達や以前お世話になったホストファミリーを訪ねたり、旅行をしたりしました。イングランド近世史を中心に歴史を勉強しているので実際に遺跡や教会などを見れたのはいい経験でした。フラットメイトにも恵まれ、快適に生活しました。9ヶ月という短い間でしたが、これからの私の勉強やキャリア、生活にとってとても有意義な留学になったと思います。